

「武庫川づくりと
流域連携を進める会
(武庫流会)」
活動紹介

武庫流会副理事長
古武家善成

武庫流会の成り立ち

武庫川の総合治水問題

中流部武田尾溪谷に県営治水ダム計画

→ **市民反対運動** → **武庫川流域委員会** (2004)

新河川法に基づき市民の意見を
反映させる場として県設置

ダムに頼らない総合治水の方向性を示す「**提言書**」答申 (2006)
「流域市民が**参画**し**連携**することなくして真の川づくり・まちづくりはできない」

→ 「**参画と協働**」の精神で流域市民による「**流域自治**」を実践
するため、流域委員会メンバーを中心に、
武庫川づくりと流域連携を進める会(武庫流会)設立(2007)

→ 「**武庫川流域圏ネットワーク**」(2011)
「**武庫川市民学会**」(2012)

武庫流会の活動



1. 武庫川づくり活動

武庫川水系河川整備事業等の情報収集・発信
流域圏ネットワーク活動への参加・

市民学会活動への協力

各種セミナー開催

2. 武庫川カルテづくり活動

ガイドブック(本流編・支流編)作成
データベース構築



3. 自然・歴史・文化観察活動

生きものウォッチング
川歩き(武庫川探訪)

4. 流域水環境調査活動

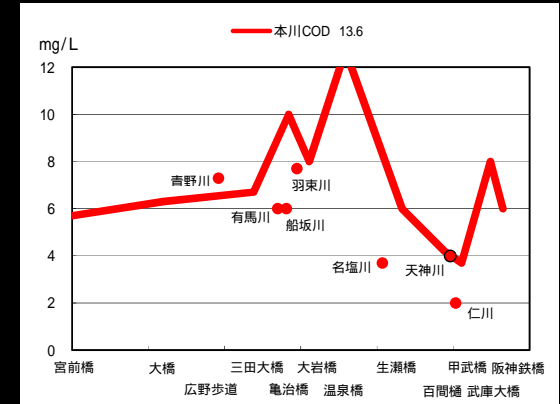
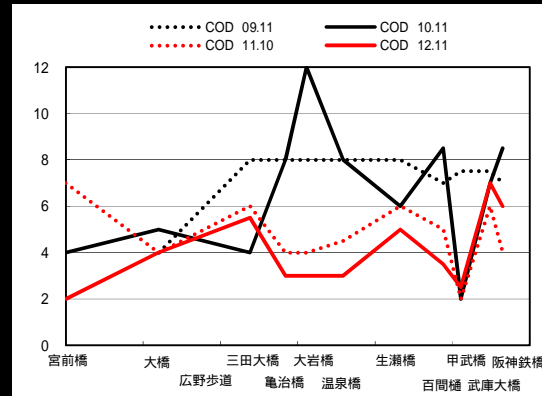
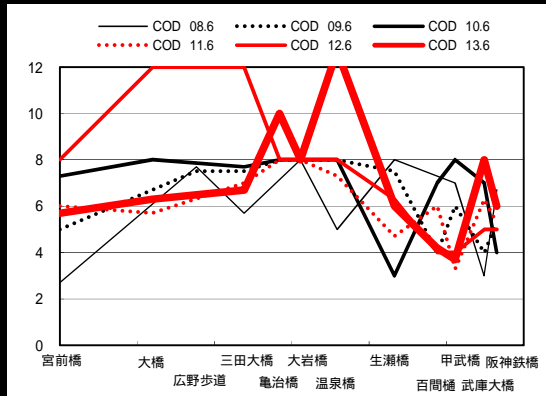
武庫川水質一斉調査(春・秋期調査:2008~)

本川春期

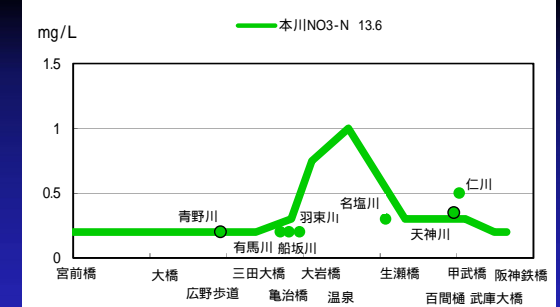
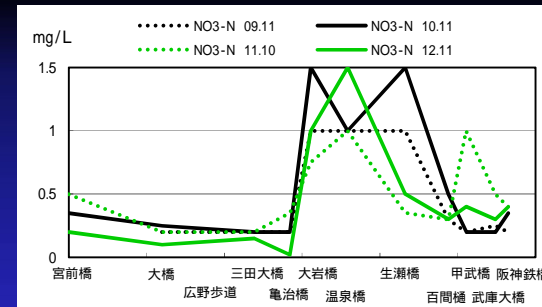
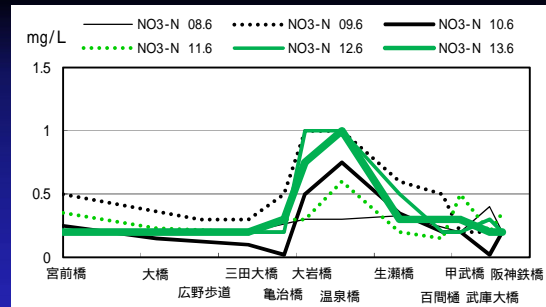
本川秋期

支川2013春期

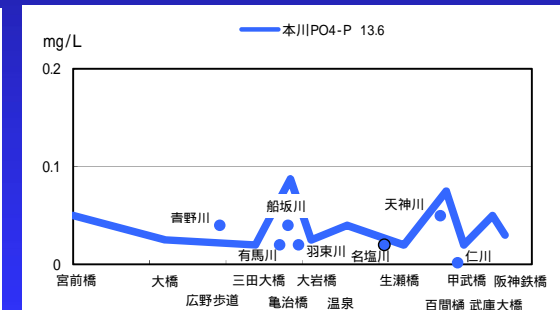
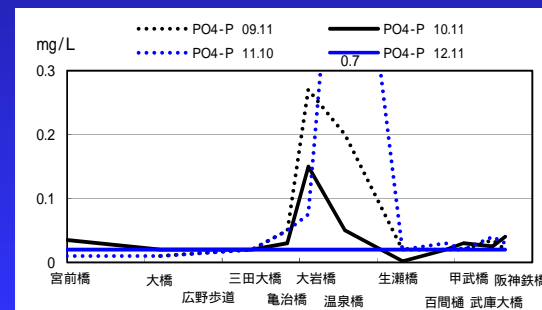
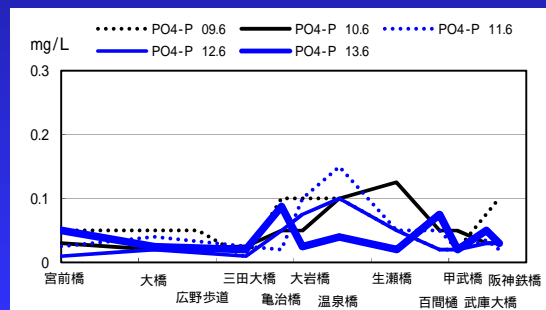
COD



NO₃-N



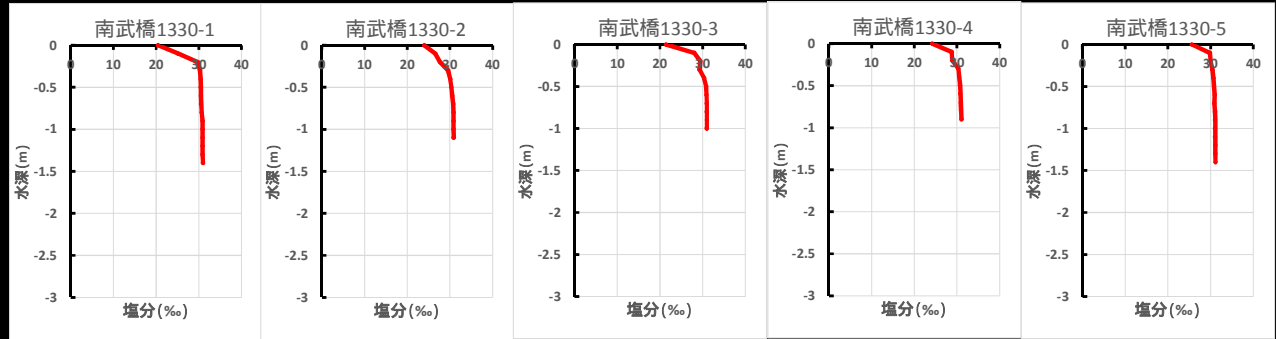
PO₄-P



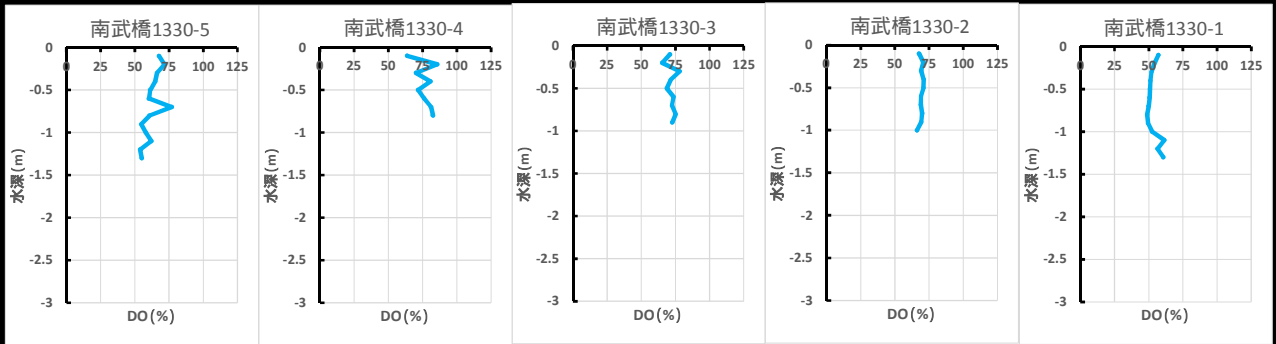
南武橋

武庫川
下流部
塩水遡上
調査
(市民学会・京
大農笠井研と
の共同調査:
2013)

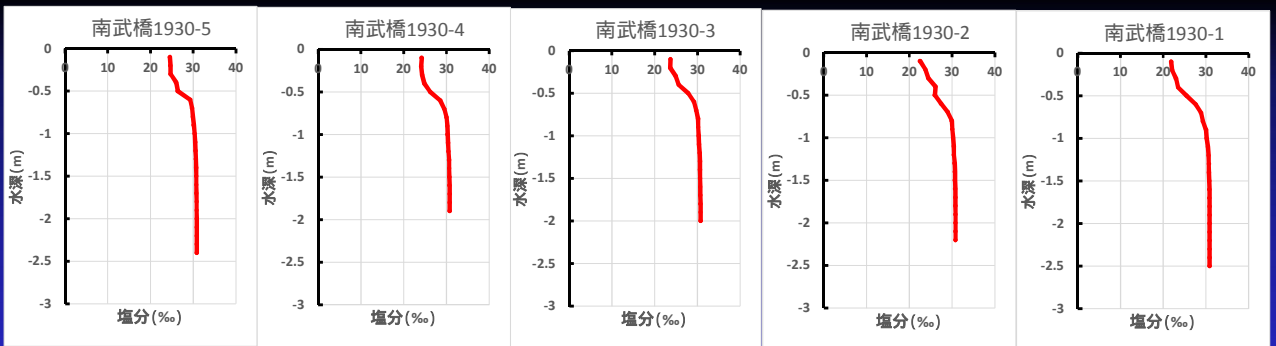
干潮時 塩分



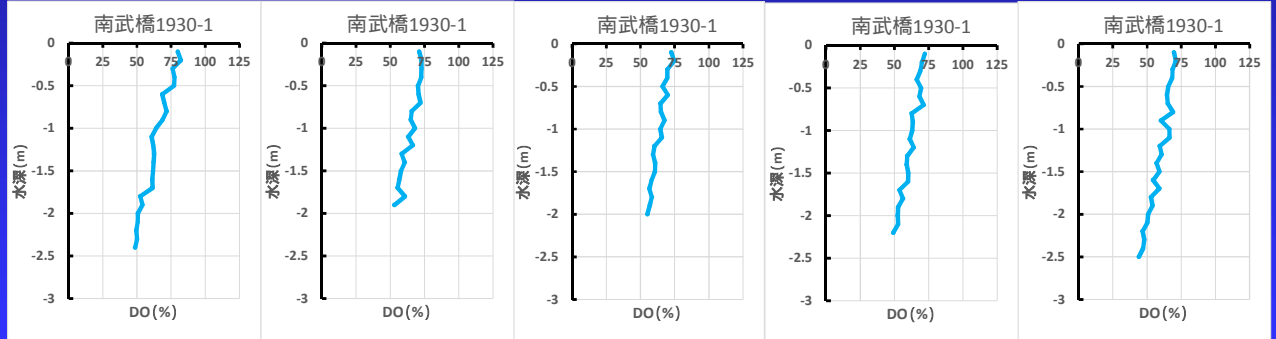
DO



満潮時 塩分



DO



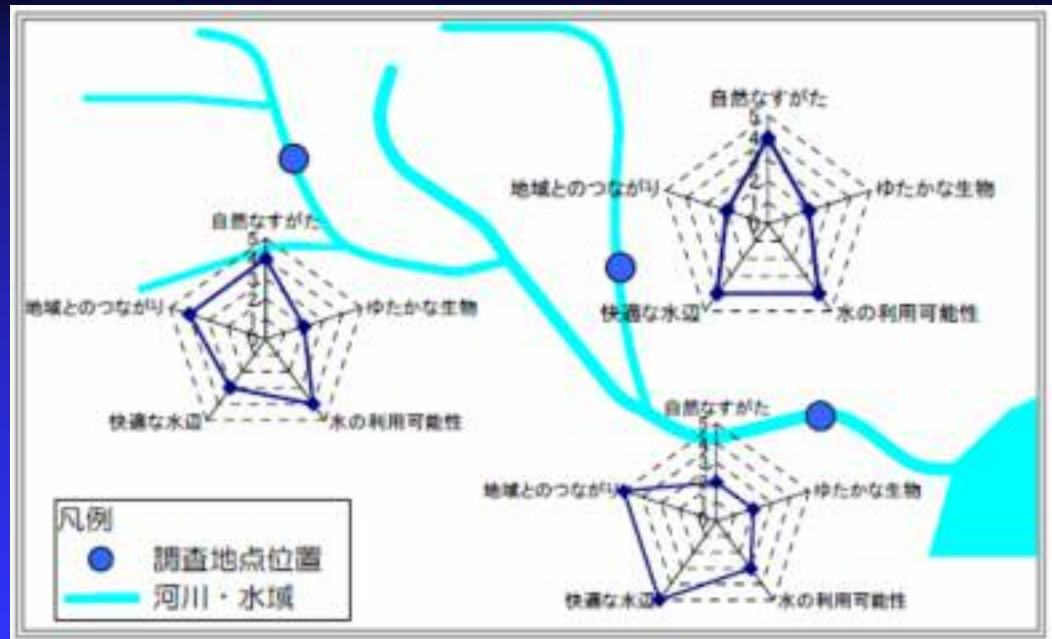
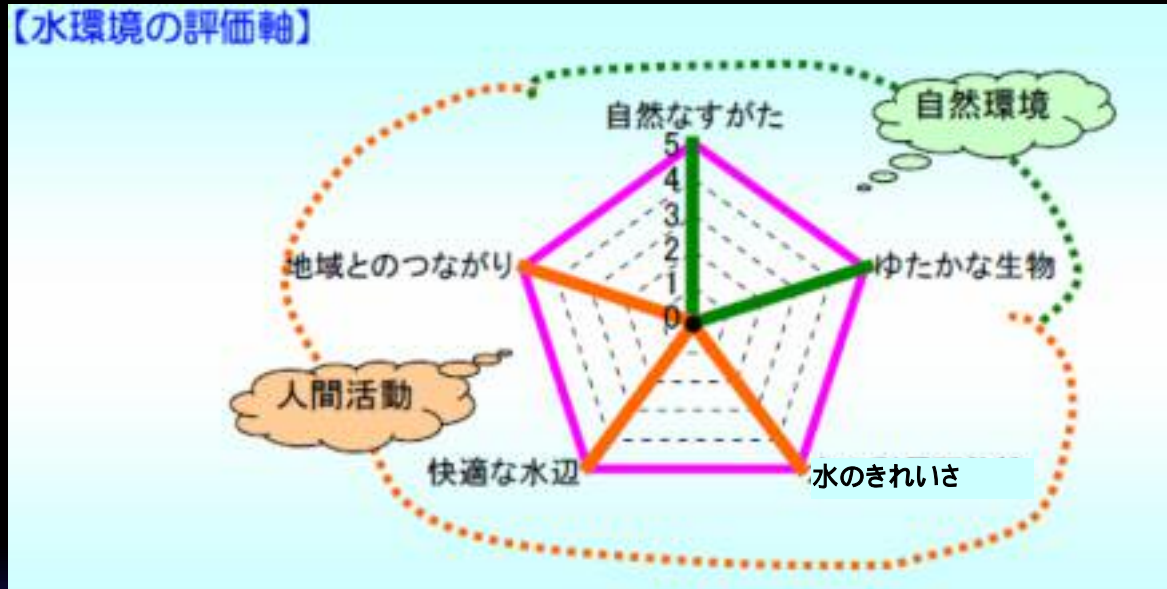
「水辺のすこやかさ指標」による武庫川水環境評価(2011～)

水環境総合指標
(日本水環境学会・
環境省開発)



簡易版
水辺のすこやかさ指標

五感で水環境を評価
レーダーチャート
により
地点の特徴を比較



5つの評価軸の個別指標項目

1. 自然な姿
2. ゆたかな自然
3. 水のきれいさ

1. 「自然なすがた」指標

個別指標		5	4	3	2	1
1	水の流れば豊かか (流量)	十分な流れがある	---	流れがある	---	流れはほとんどない
2	護岸は自然らしいか	自然な護岸	---	人工的だが自然石の石積み護岸	---	工夫のないコンクリート護岸
3	魚など生物の移動は可能か	移動障害はない、または生態系を考慮した魚道が整備	---	通常の魚道が整備	---	魚道がなく魚の移動が困難
	川の流速はどうか	非常に速い	すこし速い	普通	少し遅い	非常に遅い
	川は「自然な姿」をしているか	大変良い状態	まずまず満足できる状態	普通	問題にすべき点が見られる	何とかしないといけない点が多い

2. 「ゆたかな生物」指標

個別指標		5	4	3	2	1
1	川原と水辺の植生は	種類が多く繁茂している	---	ところどころに確認できる	---	植物は生えていない
2	鳥類の生息は	多数の鳥類を確認できる	---	複数の鳥類を確認できる	---	鳥類を確認できない
3	魚類の生息は	多数の魚類を確認できる	---	複数の魚類を確認できる	---	魚類を確認できない
4	底生生物の生息は	川底に砂や礫があり多種類の底生生物がいる	---	礫の表面が藻で覆われ、特定の種類しかいない	---	川底は黒っぽく、藻や水生昆虫はいない
	生物の生息状況はどうか	どんな生物がいるかと思うくらいきれい	生物の生息・育成・繁殖の環境としても良い	生物の生息・育成・繁殖は可能	限られた生物ならいそう	生物は棲めそうにない

3. 「水の利用可能性(水のきれいさ)」指標

個別指標		5	4	3	2	1
1	水は透明か	非常に透明	---	少し濁りがある	---	非常に濁っている
2	水は臭くないか	臭いを感じない	---	少し臭い	---	非常に臭い
3	COD(パケットによる)はどの程度か	1mg/L以下	---	5mg/L以下	---	8mg/L以上
	どんな臭いか (質問2で4以下を回答した場合:複数回答可)	下水道臭 腐敗臭 薬品臭 塩素臭 金属臭 カビ臭 藻臭 土臭 生ぐさ臭 焦げ臭 その他()				

5つの評価軸の 個別指標項目

- 4. 快適な水辺
- 5. 地域とのつながり

4. 「快適な水辺」指標

個別指標		5	4	3	2	1
1	川の周りの景観(感覚・感性)	潤い豊かな風景	---	違和感のない風景	---	水辺や河畔に適さない風景
2	水辺の見た目(視覚)	ゴミや浮遊物がほとんどない	---	ゴミがところどころにみられる	---	ゴミが多く不快
3	水との接触(触覚)	積極的に触れてみたい	---	触れてもよいが積極的には思わない	---	触れたら気持ちが悪い, または触れたくない
4	川の薫り(嗅覚)	心地よい薫りを感じる	---	気になる臭いは感じない	---	不快な臭いを感じる
5	川の音・周りの音(聴覚)	心地よい川の音を感じる	---	気になる音は感じない	---	不快な音や騒音を感じる

5. 「地域とのつながり」指標

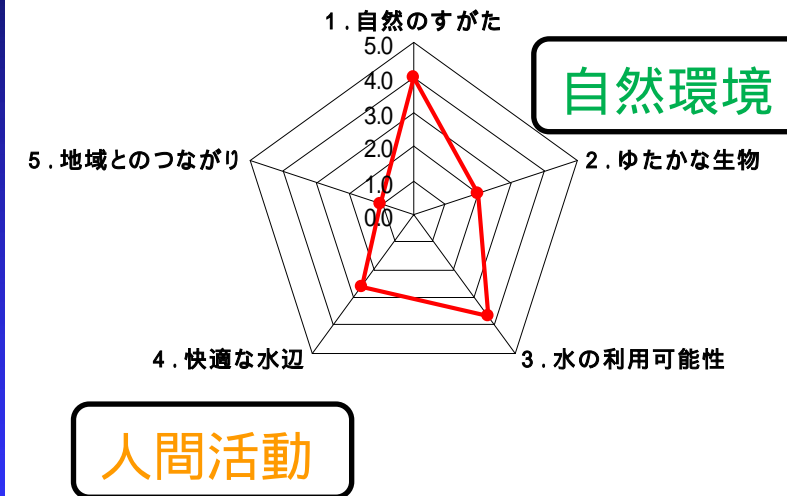
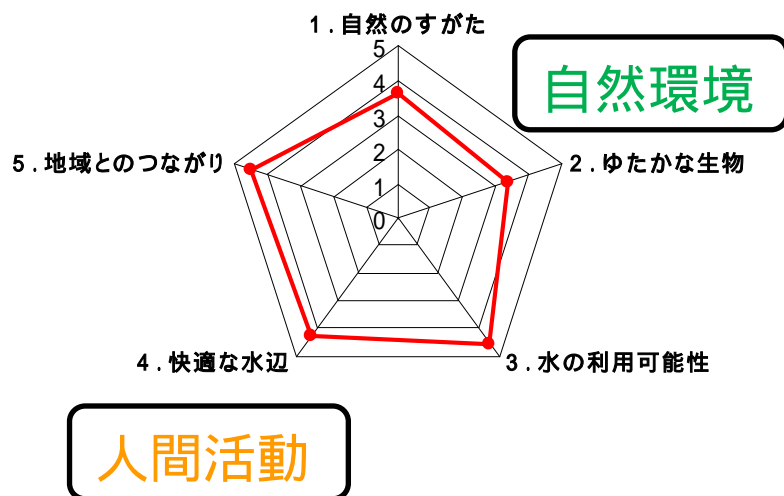
個別指標		5	4	3	2	1
1	歴史的・文化的な地域資源の存在(史蹟・歌碑・記念館・水害被害の碑・祭り・行事等: 幅約1kmの範囲)	多くの資源があり利用・継承が活発	---	複数の資源はあるが利用・継承は少ない	---	見るべき資源はない
2	水辺への近づきやすさ(物理的・制度的な近づきやすさ)	安全に簡単に近づくことができる	---	ところどころで近づくことができる	---	近づくことができない
3	住民の利用(散策, レジャーなどへの河畔・河川敷・水面の利用)	多くの住民が日常的に利用している	---	周辺住民は利用している	---	全く利用されていない
4	産業活動への利用(漁業・利水等)	非常によく利用されている	---	少し利用されている	---	全く利用されていない
5	環境保全活動	多くのNGOや住民が多様な活動をしている	---	少数の団体や住民が清掃活動等をしている	---	目立った活動はなされていない
	水資源として利用できると思うか	水道水源として申し分ない	浄化が完全なら水道水源になる	農業用水・工業用水水源として利用できる	下水・汚水の流入がありそう	とても利用できない

調査例

芥川(淀川支川:高槻市)



芥川(柏原市)



水辺のすこやかさ指標 による武庫川水系の評価



本川

支川